

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人健光園	代表者	小國 英夫	法人・事業所の特徴	「生涯地域居住」の理念のもと高齢者から児童までの福祉サービスを提供している。「大切な人にこの場所を」の理念を掲げ、慣れ親しんだ地域で高齢者が安心して暮らし続けられる支援を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 十四軒町の家	管理者	岩佐 淑子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	1人	2人	2人	人	5人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・会議の様子や研修、会議の内容をわかりやすい資料にまとめる。	在籍18名中16名の自己評価を実施。(休職中2名) 会議においてもほぼ全員の参加が出来る。	ほぼ全員で参加されている。しっかりと議論が交わされていることが確認できる。	全職員の参加を目指す。(可能な限り非常勤職員の参加を目指す。)参加した職員の感想や会議風景紹介を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・作品展や季節の野菜を作成。	夏に作品展を開催する。(BBQ含)野菜の栽培、販売には至らず。来年度、千本通り100円市に出店予定。	まだまだ必要な方しか事業所のことを知らない。広く事業所を知ってもらおう工夫を…。 広告や広報のあり方など。	千本通り商店街100円市への出店。施設の空きスペースを活用して野菜を栽培する。(現在、基礎工事中)
C. 事業所と地域のかかわり	・運動会の見学、盆踊りへの参加。	夏の盆踊りに利用者、職員と参加する。	来年以降も沢山の方が盆踊りに参加して下さい。	参加前より事業所の雰囲気盛り上げる。(盆踊りの練習、職員の服装等) たくさんの職員、利用者の参加を目指す。(勤務やボランティア)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・高齢者向け食事サービス実施。	ボランティア向けに食事を提供している。	事業所を知ってもらう工夫として料理教室は実現させてほしい。	料理教室の実現。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議報告を定例化。	小規模会議にて会議報告を行う。会議録を簡素化して閲覧しやすいようにしている。	事例報告や検討。またテーマを設定した内容で報告だけにならない工夫をしてみてもいい。	運営推進会議の内容をリニューアルする。(開催毎にテーマを決める等)
F. 事業所の防災・災害対策	・防災訓練参加の継続。 ・事業所内の避難訓練の充実。 ・物資の保管。(食料、水)	学区の防災訓練(大地震想定)に参加する。 避難訓練時にAEDの講習会を実施する。	備蓄品の紹介や災害時の事業所の機能や役割などわかりやすく説明してみてもいい。	災害時の備蓄品などを確認してもらう。 引き続き学区の防災訓練の参加、避難訓練の充実を行う。